（様式3）

令和３年度（2021年度）公共事業再評価調書

基準年月日	令和３年８月１日

調書番号	07-03	所管部	水産林務部	作成責任者	水産林務部水産局漁港漁村課長　山谷 公二
				担当係	計画係（内）28-315

Ⅰ　基本事項（基準日時点）

事業種別	水産基盤整備事業費	地区名	静狩（しずかり）	市町村名	長万部町

事業費	1,200 百万円	負担割合	国 外郭 70.0%	道 外郭 30.0%	市町村 ―	その他 ―
			840 百万円	360 百万円	百万円	百万円

事業目的・目標

当該漁港は、近年の波高増大を受けて、沿岸漂砂が港口に堆積することで、漁船の航行に支障を来しているほか、漁船の損傷被害等も発生していることから、防砂堤を整備し、安心・安全な漁業活動を図る。

【アウトカム】　等
●航路への堆砂量の減少
　整備前（H26（2014））：5,580㎥/年
　整備後（R6（2024））　：　650㎥/年

事業概要

航路・泊地への堆砂を抑制する東防砂堤、西防砂堤を新設する。

工事費内訳

		（百万円）前回評価	（百万円）今回評価
東防砂堤	L=50.0m	380	460
西防砂堤	L=220.0m	418	698
測量設計費	1式	42	42
計		840	1,200

総合計画での位置付け

施策名	栽培漁業の推進や経営の安定化等による水産業の振興	総合計画：大項目	経済・産業
総合計画：中項目	農林水産業の持続的な成長	総合計画：小項目	水産物の安定的供給を担い地域を支える活力ある水産業・豊かな漁村づくり
施策目標	水産資源・漁場の適切な管理や秩序ある利用、栽培漁業の推進などにより漁業生産の早期回復と安定化を図るほか、日本海地域で養殖業を中心とした新たな生産体制づくりを進め、漁家経営の安定化を図る。また、漁港漁村の防災力強化対策を推進し、安全で活力ある漁村を構築する。	関連する指標	-

Ⅱ　公共事業評価経過

（単位：百万円）

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H27 (2015)	H27 (2015)		H31 (2019)			840	252			
前回評価											
今回評価	H27 (2015)	H27 (2015)	R3 (2021)	R5 (2023)	6		1,200	360	250	1,042	87%

変更理由・内容

事業費の変更及び事業期間の延伸
　現地の地盤高の変化による施工量の増大や資材・労務単価・消費税率が上昇したことにより増額となった。
　また、上記の増額及び残事業量を考慮し事業期間を延伸した。

Ⅲ　事業採択前の状況

1．事業採択に至る経過と背景

恒常的な堆砂により、浅くなった航路・泊地などを避けて航行せざるを得ず、非効率な漁労活動を強いられているほか、漁船の船底が地盤と接触し損傷する状況であったため、H26年（2014年）に整備要望があげられた。

2．事業検討の手続（住民ﾆｰｽﾞの把握等）

●H26年（2014年）　長万部町、長万部漁協から漁港整備要望
●H27年（2015年）　事業着手

3．事業効果を及ぼす地域・対象

●静狩地区　21経営体
　航路への堆砂量の減少（整備前（H26（2014））：5,580㎥/年→整備後（R6（2024））　：650㎥/年）

4．関連する事業

事業名	事業主体	事業期間	事業費（百万円）	事業内容

Ⅳ　事業の実施状況

1．進捗状況

（1）事業実績及び今後の計画

施工（工種）区分	工事内容			27	28	29	30	R1	2	3	4	5	進捗状況	事業費（百万円）
東防砂堤	L=50.0m								L=17.0m		L=33.0m		34%	460
西防砂堤	L=220.0m						L=180.0m				L=40.0m		82%	698
測量設計費	1式						1式				1式		87%	42

（2）進捗状況

施工量の増による事業費の増額に伴い、事業期間を延伸したが、事業はおおむね予定どおり進捗しており、今後の実施に当たっても特に大きな支障となるものはない。

b	a：概ね予定どおり実施している。 b：事業計画・期間等を変更し実施する。 c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。

2．事業効果

経済効果の内訳（百万円）項目	R3現在	費用の内訳（百万円）項目	R3現在	B／C R3現在
水産物の生産性向上	1,210	総事業費	1,189	
漁業就業環境の向上	165	維持管理費	3	
合計（B）	1,375	合計（C）	1,192	1.15

前回算定年度　：H26年度（2014年度）【事業採択】
前回算定時B/C　：2.68
変更理由　：
・事業費の増額に伴う費用の増加。
・前回計画では、防砂堤の整備による漁獲の増大を見込んでいたが、国の事業評価において削除したため、効果が減少。

備考
●「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン」（R2年5月改訂 水産庁漁港漁場整備部）に基づき算出。
●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。

3．コスト縮減などの取組

取組の項目	取組内容	縮減額（百万円）
計画・設計の最適化	対策工法の比較検討を実施し、最安価となる現工法を採用	491

Ⅴ 評　価

1．必要性	● 本事業は、航路・泊地への堆砂を抑制し、漁船の円滑な航行等に資する防砂堤の整備を行うもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。
	a　a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。　b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。
2．事業を推進する上での課題	（1）環境上の配慮及び課題 ● 漁期と施工時期を調整し、水産業への影響に配慮している。
	（2）事業推進に対する住民の動向 ● 地元期成会から漁港の整備促進について毎年度要望が出されている。
	（3）その他の課題 ● 特になし
3．事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望どおりの予算を配当する必要がある。
	a　a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。
4．対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指して事業を継続する。
	a　a：継続　b：終了　c：休止　d：中止

事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更
					無	無

Ⅵ 備　考

1．評価履歴	事前評価：　該当なし 再評価　：　該当なし
2．その他の取組事項	● 漁業者が中心となって、年数回漁港内の清掃活動を実施している。

補足資料

Ⅶ 事業計画変更

（単位：百万円）

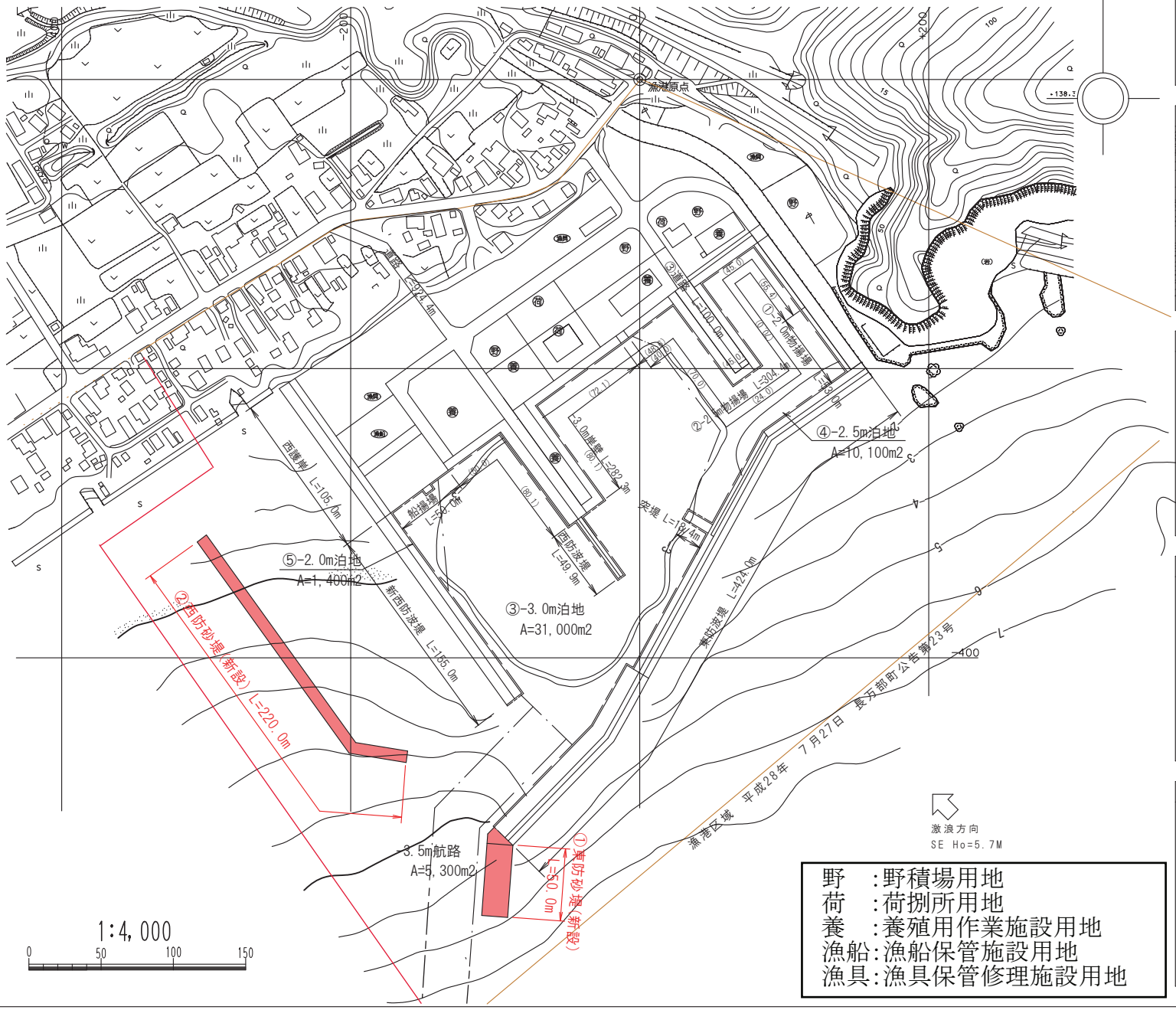
事業経過	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H27 (2015)	H27 (2015)		H31 (2019)			840	252			
変更①	1回目	H27 (2015)	H27 (2015)	R1 (2019)	R5 (2023)			1,200	360	250	1,042	87%
変更②												
変更③												
変更④												
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩						6						

変更理由・内容	変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 (1)現地の地盤高の変化により、基礎捨石や被覆ブロックの数量等が増え、施工量が増大したことによる増額 (2)石材やコンクリートなどの資材費及び労務単価や消費税率が上昇したことによる増額 (3)上記の増額及び残事業量を考慮し事業期間を延伸

静狩地区
水産基盤整備事業　計画平面図

漁港番号	種　別	所　管	事業主体	管 理 者	施　行　場　所
1114320	第１種	北海道	北海道 (長万部町)	北海道	北海道山越郡長万部町字静狩

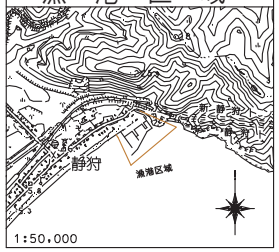
漁港原点　X=−156,852
Y=+ 18,739



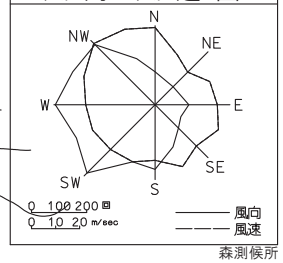
野　:野積場用地
荷　:荷捌所用地
養　:養殖用作業施設用地
漁船:漁船保管施設用地
漁具:漁具保管修理施設用地

位　置　図

漁　港　区　域



風向・風速図



森測候所

潮　位　図

H.H.W.L.	+2.4
H.W.L.	+1.6
T.P.	+1.0
M.L.W.L.	+0.5
(DL)L.W.L.	±0.0

凡　例

■ 水産基盤整備事業

平成１２年６月　測量

事業名　：　水産基盤整備事業
地区名　：　静狩地区（北海道山越郡長万部町）

●事業概要

当地区は、北海道渡島半島北部の長万部町に位置し、北海道で唯一の内湾である噴火湾に面している。地域の基幹産業は水産業であり、地区内総生産額の約7割を占めている。なかでも主要漁業であるホタテガイ養殖漁業は地区全体陸揚高の約9割を占めている。

当地区では、近年の波高増大を受けて、沿岸漂砂が定常的に港口に堆積することで三角波が発生しており、漁船の待ち時間が発生するなど航行に支障を来している。さらには、船底が地盤に接触することで、船体の損傷やより慎重な航行を強いられていることから、これらの課題を解消するため、防砂堤を整備し、生産コストの削減や労働環境の改善を図る。

属地陸揚量：2,878t、属地陸揚金額：923百万円（R元）

●事業内容

- 主な事業量　：　東防砂堤（新設）L= 50.0m
  西防砂堤（新設）L=220.0m
- 事業費　：　1,200百万円
- 事業主体　：　北海道
- 事業期間　：　H27年～R5年
- B／C　：　1. 15

静狩地区位置図

漁船の待ち時間の発生

船底の衝突